



FOOTBOARD EDGE LIGHT KIT (フットボードエッジライトキット)

概略

キット番号

50743-04

キット内容

「図6」および「表1」を参照してください。

モデル

このキットは、2005年式FLSTN/Iモデルを除き、標準装備のライダーフットボードを装備した全モデルの車両に使用できるような設計してあります。

モデルの適合に関する情報は、最新の純正P&Aカタログを参照ください。または、ハーレーダビッドソン ジャパン正規販売網店にお問い合わせください。

注記

この取り扱い説明書は、サービスマニュアルの記載情報の参照を必要としています。このキットを取り付ける際は、お持ちの車両のサービスマニュアルが別途必要です。ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店でお買い求めいただけます。

取り付け要件

2014～2016年Touringモデル:延長ハーネス(部品番号69200722)を用意して、アクセサリ回路コネクターを配置する必要があります。

2017年以降のTouringモデル:延長ハーネス(部品番号69201599)を用意して、アクセサリ回路コネクターを配置する必要があります。

取り外し

1. サービスマニュアルの説明に従ってシートを取り外します。

▲警告

誤ってエンジンを始動すると、死亡や重傷事故の危険があるため、マイナス(-)バッテリーケーブルを外してから作業を開始してください。(00048a)

▲警告

マイナス(-)バッテリーケーブルを先に取り外します。マイナス(-)ケーブルを接続した状態でプラス(+)ケーブルがアースに接触すると、火花が発生してバッテリーが爆発し、死亡や重傷を負う原因になることがあります。(00049a)

2. マイナスから先にバッテリーケーブルを外します。
3. Softailモデルのみ、電気配線がバッテリーエリアのほうへ取り回せるよう、バッテリーを取り外してください。

取り付け

1. 図1を参照してください。まず、左側フットボード(1)を直立させて、フットボードの裏面に作業の手が入るようにします。
2. フットボードの裏面に突き出ている3本のラバーバンパータブ(2)にウィンドウクリーニング溶液をスプレーします。
3. まず、ライトハウジング(3)の中央の穴を上に向かって押し付けてから、ライトがタブに着座するまでラバーバンパータブを引き下げます。左右のタブについても同じ作業を繰り返します。
4. 右側のフットボードにも同じ手順を繰り返します。

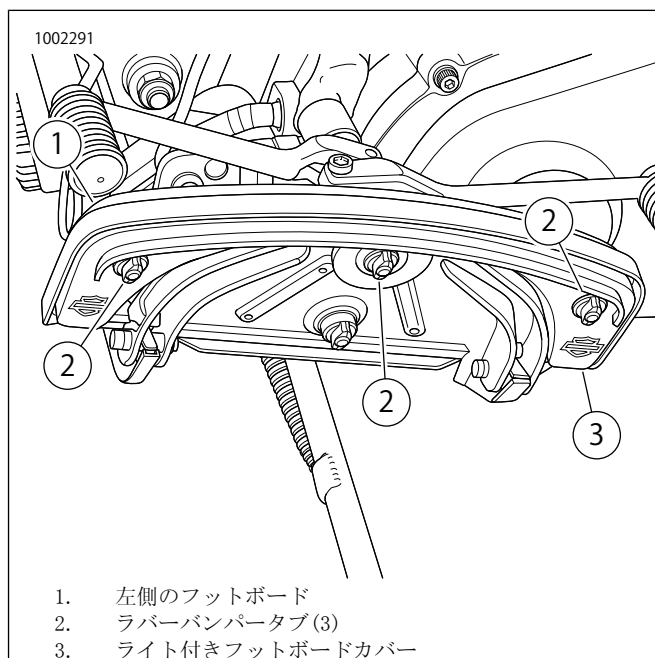


図1. ライト付きフットボードカバーの取り付け

配線の取り回し

注記

右側フットボードライトの配線は、フットボードの前から出ます。左側フットボードライトの配線は、フットボードの後ろから出ます。

▲警告

ステーションナリーと可動パーツの間に十分な間隔を作らないと、ハンドル操作が奪われ、死亡事故や重大な人身事故を引き起こすおそれがあります。(00378a)

注記

フットボードハーネスワイヤーは、フットボードスイベルヒンジ、ドライブベルト、エキゾーストパイプ、サイドスタンド、鋭いエッジのどれにも接触しないように取り回してください。

全モデル:まず左側フットボードのワイヤーを、フットボードの右フロントブラケット越しに車両フレームの下側へ取り回します。短いワイヤータイでワイヤーを固定します。続けて、垂直のフレームサポートに達するまで、フレームの底に沿って車両のリアへ向けてワイヤーを這わせませす。ボトムフレームに沿ってワイヤーを固定します。ワイヤーがドライブベルトに接触しないよう気を付けながら、垂直のフレームサポートのほうへワイヤーを送ります。バッテリーコンパートメントエリアへワイヤーを送ります。キット付属の、長いワイヤータイを2本使って、垂直のフレームサポート沿いにワイヤーを固定します。車両の右側についても、同じ手順でワイヤーを取り付けます。

電気接続-1994年以降の全Touringモデル

1. 図2を参照してください。まず、左側フットボード(1)を直立させて、フットボードの裏面に作業の手が入るようにします。
2. フットボードの裏面に突き出ている3本のラバーバンパータブ(2)にウィンドウクリーニング溶液をスプレーします。
3. まず、ライトハウジング(3)の中央の穴を上に向かって押し付けてから、ライトがタブに着座するまでラバーバンパータブを引き下げます。左右のタブについても同じ作業を繰り返します。
4. 右側のフットボードにも同じ手順を繰り返します。

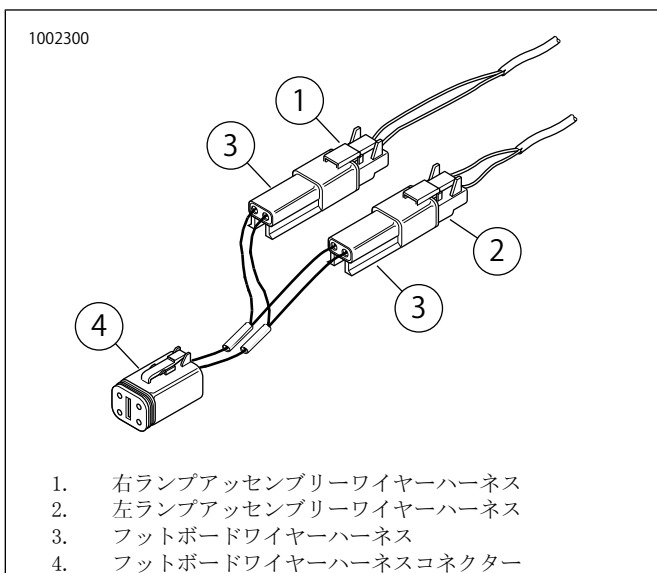


図2。電気接続-1994年以降の全Touringモデル

電気接続-全Softailモデル

注記

Softailモデルはすべて、既存の配線にアダプターハーネスを接合する必要があります。あらかじめ絶縁してあるリングターミナルおよびバットコネクタは、本キットに入っています。

1. 図3を参照してください。右(1)および左(2)のランプアッセンブリーワイヤーハーネスを、キット付属のフットボードワイヤーハーネス(3)に差し込みます。
2. サービスマニュアルの手順に従ってDeutschコネクタ(4)を取り外します。
3. 黒ワイヤー(5)に付いているターミナルを、できる限りコネクタに近い位置で切り落とします。黒ワイヤーの先端から10mm(3/8インチ)の長さだけ被覆を剥き、キット付属のリングターミナル(6)を取り付けます。
4. 図4を参照してください。シート下にあるアーススタッド(1)にリングターミナルを接続します。
5. 図3を参照してください。Deutschコネクタを分解した状態で、オレンジ色(またはオレンジ/白色)ワイヤーの被覆を剥き、あらかじめ絶縁してあるシールスプライスコネクタ(8)(キット付属)を取り付けます。

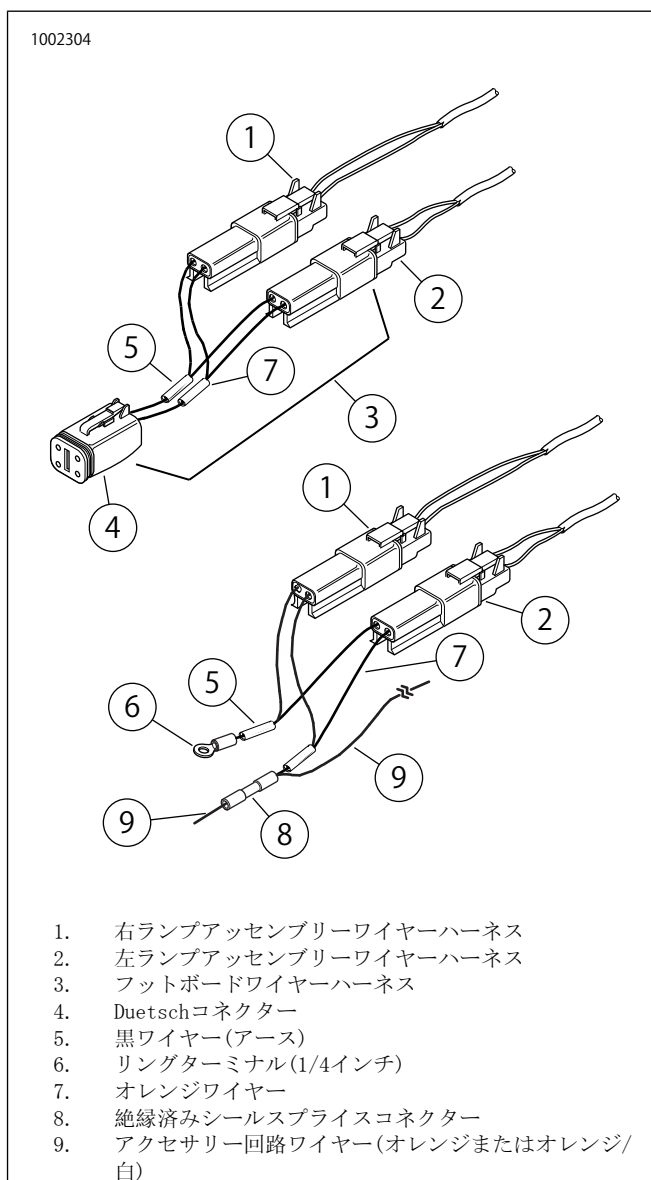


図3。電気接続(全Softailモデル)

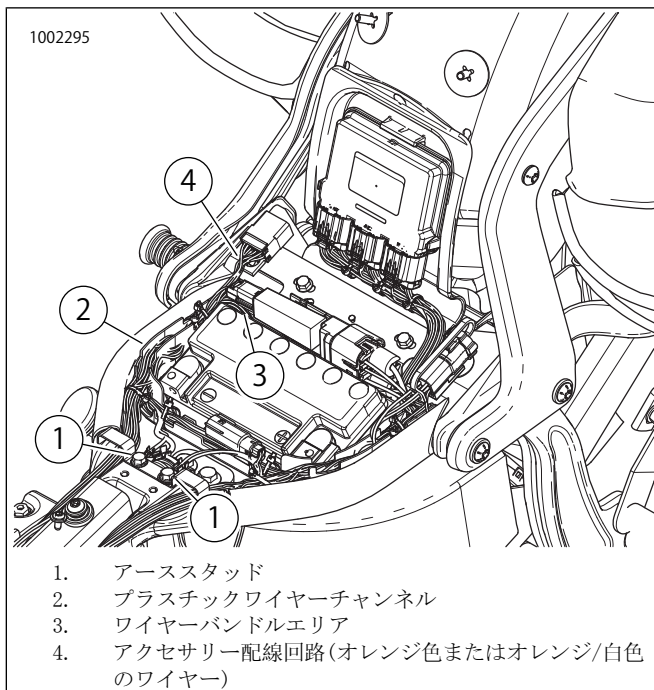


図4. 電気接続の位置

- 図5を参照してください。シート下のリアランプコネクタ(2)の近くにあるメインハーネスのアクセサリワイヤ回路(9)に、コネクタのもう一方の先端を接合します(ワイヤの色はオレンジまたはオレンジ/白)。

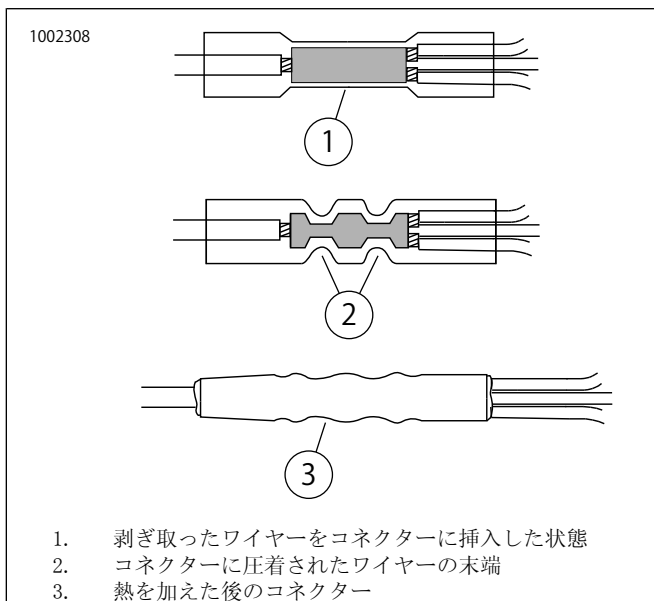


図5. シール付きバットコネクタの取り付け

- ワイヤをプラスチックワイヤチャンネル(4)に通します。余ったワイヤは、東ねてバッテリーの前(3)に押し込みます。「最終組立作業」へ進みます。

接合方向

- できる限りターミナルに近いところでワイヤからターミナルを切り落とします。
- 接合する各ワイヤの先端から10 mm (3/8インチ)だけ被覆を剥きます。
- 図5を参照してください。接合部ごとに図のようにワイヤの先端を接合コネクタに挿入します。
- バット接合コネクタの色と、クリンプツールのクリンプキャビティの色を同じにします。Crimping Tool (クリンプツール) (H-D38125-8)を使ってワイヤをコネクタにクリンプします。

▲警告

UltraTorch UT-100または他の放射加熱装置を使用する際は、メーカーの指示に従ってください。メーカーの指示に従わないと発火の危険があり、死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00335a)

- 熱をフューエルシステムコンポーネントに近付けないでください。熱放射を直接当てると、高温により燃料に着火/爆発して、死亡事故または重大な人身事故を引き起こすおそれがあります。
- ヒートシュリンク作業が行われているコネクタ以外の電気システムコンポーネントに熱を近づけないでください。
- ツールチップ部分とヒートシュリンクアタッチメントへは手を触れないでください。

UltraTorch UT-100 (H-D 39969)、Robinair Heat Gun (Robinair製ヒートガン) (H-D25070) (Heatshrink Attachment (ヒートシュリンクアタッチメント) (H-D41183)を併用)、その他の適切な放射加熱装置のいずれかを使って、クリンプした接合部に熱を当ててバット接合コネクタを密閉します。コネクタの両端から密閉剤が融解して流出するまで、圧着部の中心から各末端に向かって熱を加えてください。

最終組立作業

▲警告

プラス(+)側のバッテリーケーブルを先に接続します。マイナス(-)ケーブルを接続した状態でプラス(+)ケーブルがアースに接触すると、火花が発生してバッテリーが爆発し、死亡や重傷を負う原因になることがあります。(00068a)

- プラスのケーブルを先にして、バッテリーケーブルを接続します。
- サービスマニュアルを参照してください。シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上引張って、固定されているか確認します。

1002312

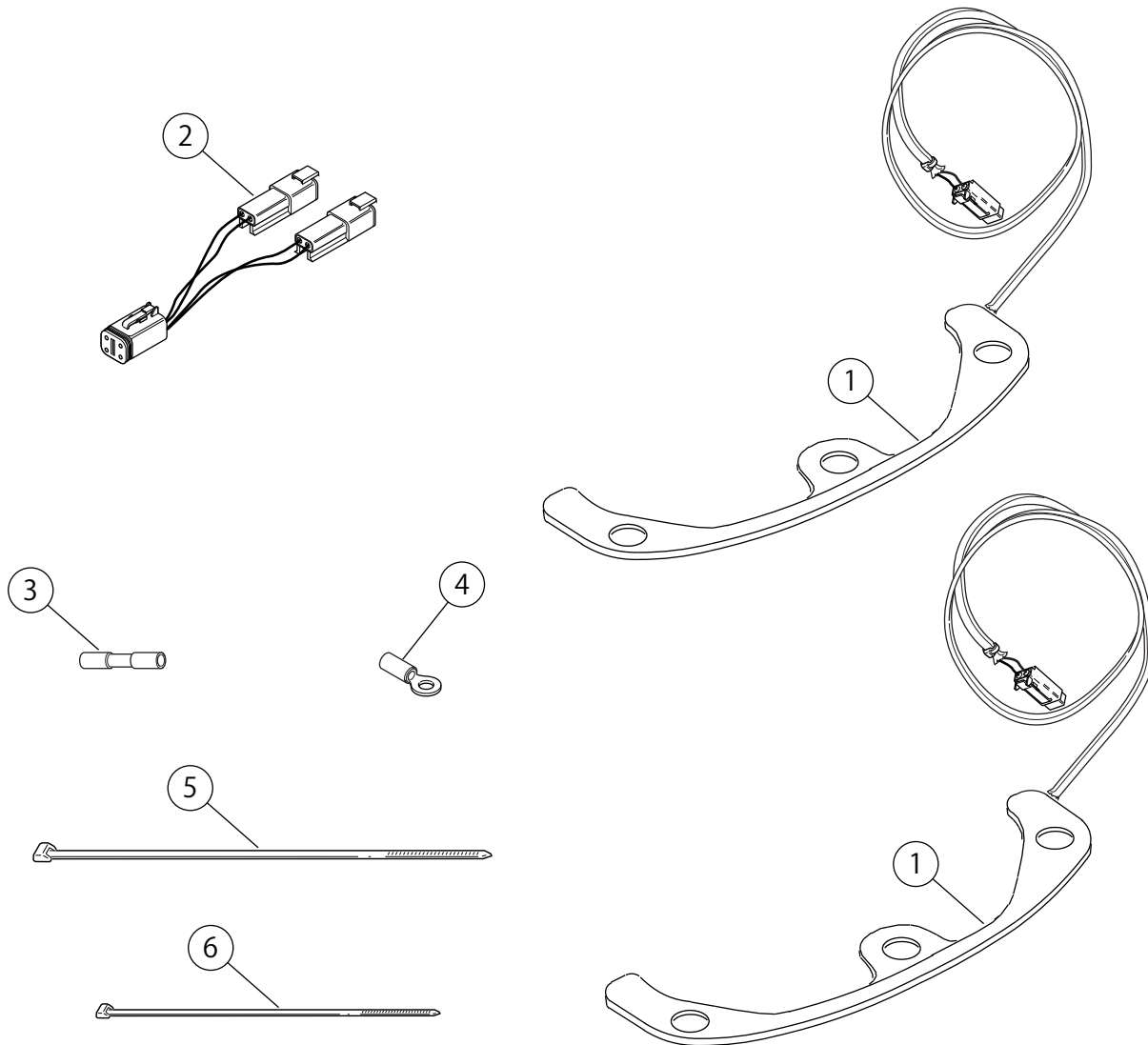


図6。フットボードエッジランプキット

表1。

アイテム	説明	部品番号
1	フットボードエッジランプ (2)	50744-04
2	ワイヤーハーネス、フットボード	70281-03A
3	コネクター、絶縁済み、シールスプライス (2)	70586-93
4	リングターミナル、絶縁済み、内径1/4インチ ID	9863
5	ストラップ、ケーブル (12)	10006
6	ストラップ、ケーブル (長) (4)	10039